

第24回全国青年対策交流集会に参加して

この度2月29日～3月2日に開催された第24回全国青年対策交流集会に参加しました。今回は関西地方での開催で視察や学習会を行いました。

一日目にIR問題と港湾産別の学習会を大阪支部の青年部の方と松永書記長を講師に行いました。IR問題は動画や画像と共に説明をしてもらい、利益だけを考えて莫大な投資で建設し、港の仕事や交通機関の影響などを本当に考えているのか等分かりやすく教えて頂きました。港湾産別では、冊子を元に説明してもらい、全港湾の成り立ちや組合組織の意味など様々な知識を教えてもらいました。

2日目は初日に学習したことを胸に視察と学習会に臨みました。まず、神戸海洋博物館に周り次に咲州コスモタワー展望台視察に行きました。その中で咲州コスモタワー展望台から見た風景が印象に残りました。まず、六大港の一つの大きな港が見れたこととIR建設現場を見れたことでした。地元の港で扱っている荷物の量や物流の差が地方とでここまであるのかと驚きました。IR建設現場は人口島で結構な土地を使いそのすぐ近くには港湾岸壁がありコンテナやガントリーありました。島を繋ぐ橋も今のところ1本しかなく今後ほかの通路を確保しても交通問題が解決できないのではと思います、このまま沢山の来客を見込んでいるならば確実に港湾や物流で仕事の方たちに大きなダメージを与えると感じました。次に港湾会館にて畠山副委員長を講師に労基法について学習会を行いました。時間外等の割増賃金や労基法の基本知識や法律の落とし穴等を分かり易く教えてもらいました。そして、今回のIR問題・港湾産別・労基法を学習したことを班に分かれて分散会を行いました。様々な意見が出て活発な議論ができました。

3日目に各班で議論したことを発表し、色々な意見や考え方が聞けました。そして青年部のスローガンが「助け合い 認め合い 仲間と共に 未来を切り開け 全港湾青年部」に決まり、中央本部まとめを聞いて最後に皆で団結ガンバローを行い今年の青年対策交流集会を終えました。

今回の青年対策交流集会で様々な事を肌で感じ学習することができました。今の自分の知識ではまだ組合活動等力不足だなどと思い、法律など学習も大事なんだと改めて感じました。そして、今回決まったスローガンのように全国の横の繋がりを大事にし、助け合う組合員になろうと思います。

最後になりますが、今回青年対策交流集会を開催して下さった中央本部の皆様、大阪支部青年部の方々、参加された青年部の皆様ありがとうございました。

全日本港湾労働組合四国地方松山支部
菅 智彦